

	武蔵野の原風景 水辺にゆらぐホタルの光 ～区立中里郷土の森でホタル観察会を開催します～	
と き	6月1日～7月7日の毎土・日曜 午後8時～9時	西武池袋線大泉学園駅北口から西武バス 和光市駅南口行き「北大泉」下車 徒歩5分
と ころ	区立中里郷土の森(大泉町1-51-2)	
公式サイト	http://www.ces-net.jp/nakazato/	
<p>区は、6月1日から、区立中里郷土の森(大泉町1丁目)で、ヘイケボタルの観察会を開催する(7月7日まで)。</p> <p>かつては田んぼでよく見られ、練馬の風物詩のひとつだったヘイケボタル。近年は、田んぼや水路の減少により、姿を見ることも少なくなった。そこで同園では、園内の飼育室および小川等でヘイケボタルを育成。今では自然繁殖も確認されている。</p> <p>初夏の夜、静かな森の草や土の香りの中で、ホタルの光を楽しんでみてはいかがでしょうか。</p>		



▲園内のヘイケボタル

【ホタル観察会概要】

日時：6月1日～7月7日の毎土・日曜 午後8時～9時

申込：往復はがきまたは中里郷土の森緑地のホームページからお申込みください(5月1日から)

定員：各日先着150人(1グループ最大6人まで)

※事前申込者以外はご覧になれません。

【昨年の様子】

自然解説員によるホタルのミニツアーでは、ホタルの卵や幼虫の実物展示を見た参加者からその小ささに驚きの声が上がった。屋外の小川に出ると、不慣れな暗い草むらに大人も子供も目を凝らす。目が慣れると、次々に「いた！そこ！」と、初めて目にしたホタルに歓声が響いた。さらに屋外の夜の生きもの観察コーナーでは、夜行性の昆虫や夜に咲く花の姿をホタルとともに楽しむ姿が印象的であった。



▲昨年の様子

【参考】区立中里郷土の森について(平成29年3月25日開園 約2,500㎡)

ケヤキなどの大木からなる武蔵野の原風景を活かした公園。(入園無料)

100年以上前から残る屋敷林の形をそのまま伝えている。

園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員とともに、練馬の自然や生きものを楽しく学べる自然体験プログラムを実施している。(毎週日曜開催)

開園時間は3～9月が午前9時～午後5時、10～2月が午前9時～午後4時30分まで。火曜(祝休日の場合はその翌平日)・年末年始は休園。



▲森の学習棟

【問い合わせ】練馬区 みどり推進課 みどり事業係 03-5984-1683